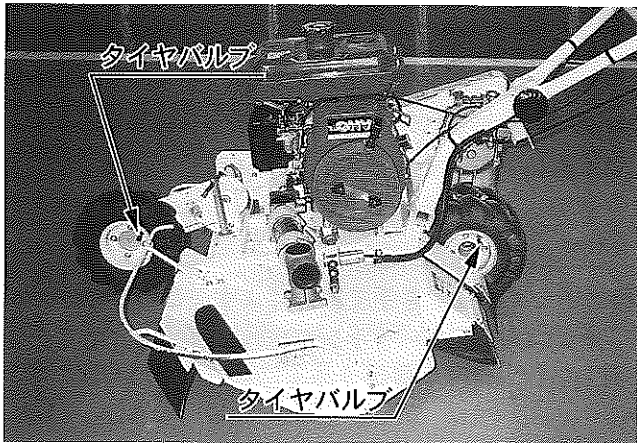


### ■タイヤ空気圧の点検

- ①空気圧が不足するとスリップして使いにくくなります。  
空気圧：0.2MPa (2.0kg/cm<sup>2</sup>)
- ②空気圧が低い場合は、ハンドポンプ等でタイヤバルブから空気を入れてください。空気を入れるときは、途中でタイヤゲージで空気をチェックしながら入れ過ぎないように注意してください。

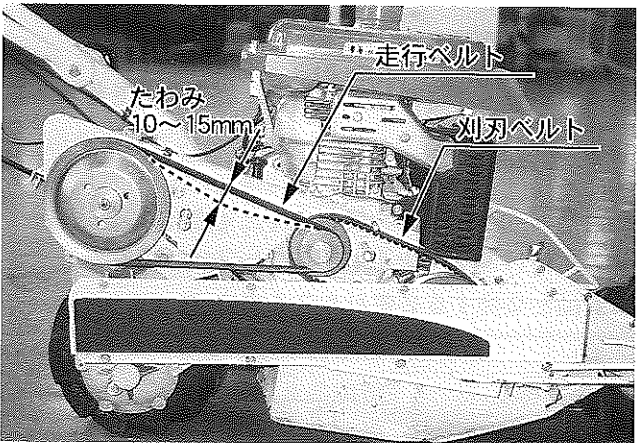


### ■ベルトの点検と交換



#### 警告

\*各ベルトの点検調整・交換をするときは、エンジンを必ず停止してください。



- ①ベルトの中央部を指先で軽く押してたわみを見る。
- ②ベルトが磨耗や欠損しているときは交換してください。

### ■走行ミッションケースオイルの交換

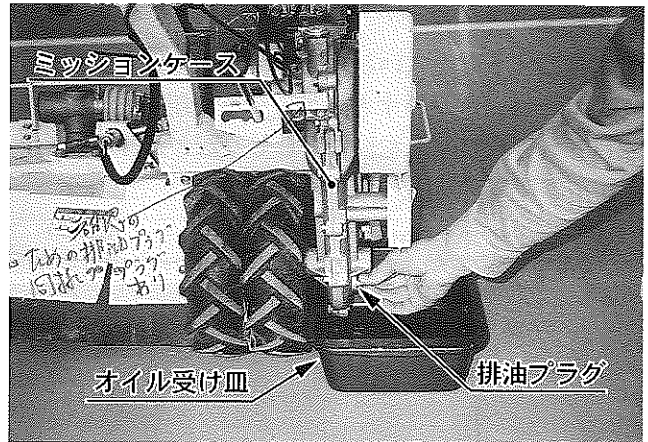


#### 警告

\*オイルの交換をするときはエンジンを必ず停止して、じゅうぶん冷えた状態で行ってください。  
\*オイル交換中は火気厳禁です。

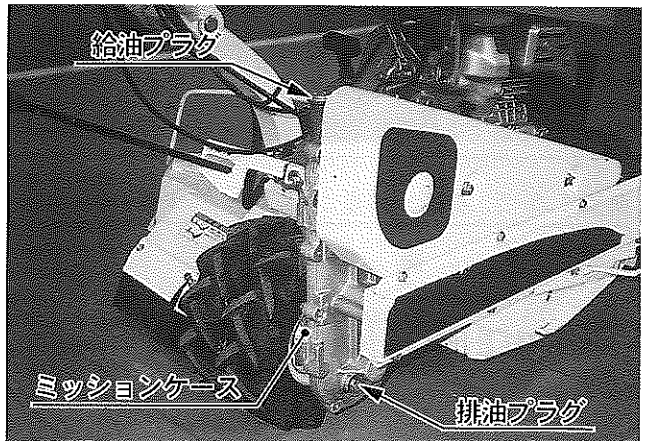
### ◆排油のしかた

ミッションケース下部にある排油プラグを外して、ミッションケース内のオイルを排出します。このときオイル受け皿を用意し排出してください。



### ◆給油のしかた

排油プラグを締付けて、給油口から給油し、オイル給油プラグをきちんと締付けてください。



オイルの種類	オイル量
クボタ純オイル M80又はM90 (ミッション用)	0.9L <small>りんぼん</small>

MGC60145頁

### ■エンジンオイルの交換

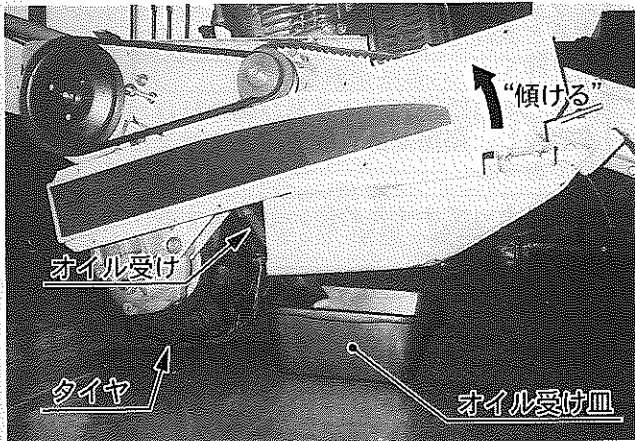
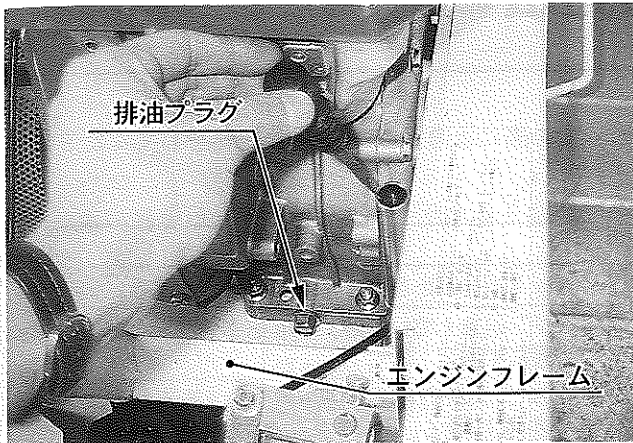


#### 警告

\*オイルの交換をするときはエンジンを必ず停止して、じゅうぶん冷えた状態で行ってください。  
\*オイル交換中は火気厳禁です。

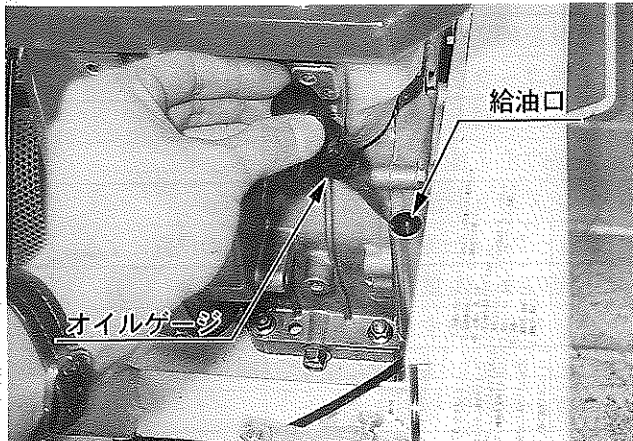
### ◆排油のしかた

エンジン下部のハンドル側にある排油プラグを外して、エンジンクランクケース内のオイルを排出します。このときオイル受け(鉄板、厚紙等)をエンジンフレームとタイヤの間に入れ、オイル受け皿を用意し排出してください。ハンドルを押し下げて機体を傾けるとクランクケース内のオイルが完全に排出されます。



#### ◆給油のしかた

排油プラグを締付けて、給油口から給油しオイルゲージをきちんと差し込んでください。

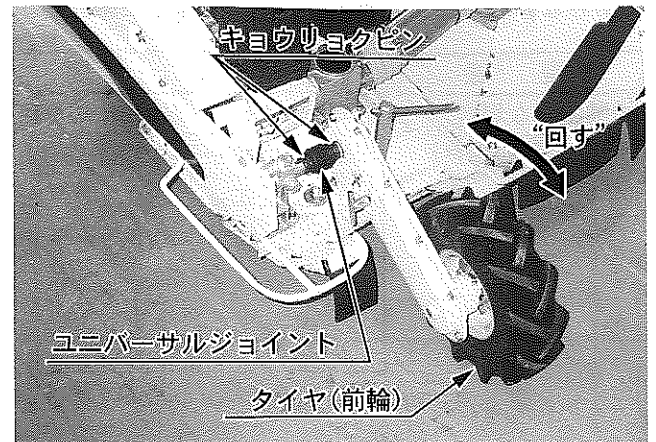


オイルの種類	オイル量
4サイクルガソリンエンジンオイル (クボタ純オイル又はAPI分類SE級以上)	0.6L

## ■前輪ジョイントピンの交換



\* 交換するときは、エンジンを必ず停止してください。



前輪ユニバーサルジョイントのキョウリョクピンが破損した場合、次の要領で交換してください。

- ① タイヤ(前輪)を手で回転させ、穴位置を合わせてください。
- ② ピン抜きで穴に残っているキョウリョクピンを抜いてください。
- ③ 予備のキョウリョクピンを穴に入れてください。

## 長期格納のしかた

シーズン終了後、機械を格納する場合は次のことを守ってください。

- ① 各部に付着した泥や雑草を取除いてください。
- ② 摩擦しゅう動部分、各レバー支点はきれいに清掃したあとじゅうぶん注油して、錆びたり、硬着したりしないようにしてください。
- ③ 燃料が残っているときは必ず抜き取ってください。

## 使用者が行なってはいけない修理

この取扱説明書に記載していない点検・清掃・修理は、不安全作業がともなったり、細かな調整が必要になるので、必ずお買上げのJA農協や販売店の修理工場又は専門業者に依頼してください。

## 使用済廃棄物の処分について

包装箱のくずや交換したゴム、プラスチック類、廃油は公害源になることがありますので、法令に基づき、処分にはきめ細やかな注意が必要です。

市町村の実施している公害物の収集に出すか、販売店又は専門の廃棄業者に依頼するようにしてください。特に廃油は溝や空地などに絶対に捨てないでください。